

令和3年度 第3回江南市男女共同参画懇話会議事録

- 1 開催日時：令和3年11月4日（木）午前10時～11時30分
- 2 開催場所：江南市防災センター2階 研修室1
- 3 出席者：岡田委員、水野委員、仙田委員、高田委員、松井委員、宮地委員
雪岡委員、伊達委員、森崎委員、栗本委員、小森委員、尾関委員 計12名
事務局
- 4 欠席者：斉藤委員、奥村委員、武田委員、丹羽委員、丸田委員 計5名
- 5 議題
(1) 第3次こうなん男女共同参画プランについて
(2) 第2次こうなん男女共同参画プラン進捗状況について

6 議事内容

議題（1）第3次こうなん男女共同参画プランについて	
事務局	第3次こうなん男女共同参画プラン 計画の基本目標や施策体系について事務局説明
事務局	<p>基本目標Ⅳ中の「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」について、1次プランでは記載していた分野でありましたが、その際は意識啓発を図るという事で、健康づくり課によるパパママ教室を開催することで推進していました。妊娠期による啓発を進めていたところでしたが、先に開催しました市職員で構成する推進委員会の会議の中で、他市町の男女共同参画プランを見てみると、この分野については基本目標に掲げているところもある、という意見をいただきました。</p> <p>事務局としては「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」について、具体的な事業が進んでいない中、まずは言葉の周知からと、これから一步一步、歩いていく分野であると考えていることから、基本目標ではなく具体的施策に位置づけています。「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」はどのような位置づけで明記したらよいか、皆様のご意見をお聞かせください。</p>
委員	「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」はかなり前から存在する言葉であり、市のプランに組み込んでいくという姿勢はとても大切なことです。この言葉は馴染みのない人たちへの周知にもなるので記載した方が良いと考えます。

会長	1次プランで記載があった「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」という言葉は2次プランではなくなり、3次プランで再び記載されました。それを基本目標の中に掲げて良いのではないかと考えています。
委員	その通りです。
委員	リプロダクティブ・ヘルス／ライツが言われ始めた時から社会情勢は変化し、その変化に応じて2次プランでは取り上げるのをやめたということがあったのかもしれませんが、今回、この言葉を知らない人々への周知にもなるので記載したほうが良いと考えます。
委員	リプロダクティブ・ヘルス／ライツの意味については多岐にわたっていると思います。自分を守るためにリプロダクティブ・ヘルス／ライツという権利があるということを教育していくことが大事だと思うので、ぜひ加えていただきたいです。
会長	これまでの意見からリプロダクティブヘルス／ライツについては具体的施策に位置づける事務局案が良いのではないかと考えています。では、事務局案のとおり進めていただこう、よろしくをお願いします。
委員	江南短大に子育て支援センターがあり、防災の面に関して市と協定を結んでいるかと思いますが、現在どのような状況なのか教えていただきたいです。
事務局	<p>協定を結んでから、実際に大きい災害が無いので、現状の詳細については把握していません。ただ、災害対策等について短大と市が協定を結ぶという事は国内でも珍しい事で、全国から視察にきているということは聞いております。災害時に乳幼児を受け入れる場所があり、避難者の負担やストレスを減らせるという点において、江南市は先進的なことをやっているのではないかと考えています。</p> <p>今回の計画の策定過程で、防災の備蓄用品の中で、女性の衛生用品が足りていないということが分かりました。計画では女性の視点として多く意見を盛り込んでいますが、江南短大の乳幼児の受け入れということは記載してはいません。ただし、備蓄用品として、乳幼児用のものを置くことについては現在検討しているところです。</p>
委員	<p>1年前くらいに、他市町で電気も水も止まるような災害がありました。乳幼児用のミルクを溶くことができないので、その地域に液体ミルクを集めて送ったという記憶があります。</p> <p>このような時に子育て支援センターとうまく連携がとれていれば混乱なく済んだのではと考えます。</p>

委員	<p>最近の若い層の方たちは液体ミルクを日常的に使うことが増えてきているようで、遠出の旅行をする時にも持っていったりしています。液体ミルクが薬局等に置いてあることはあるかと思いますが、備蓄するほどの数があるわけではないと思います。液体ミルクの需要が高くなっているという視点も持っていただけると乳幼児を持つ母親の助けになるのではないかと考えます。</p>
会長	<p>委員の皆様からあった意見を、他の会議へ共有していただきたいです。</p>
事務局	<p>プラン案52ページの視点1で「暴力の根絶」と表記していながら、相談件数を増加させることを目標としています。</p> <p>「根絶」といいながら相談件数が増加するというのは適した目標かということについて、事務局としては、安心してDVの相談ができる体制を整えるということで相談件数を増加させるという目標を掲げるのであれば、適した目標であるとも考えていますが、皆様のご意見をお聞かせください。</p>
委員	<p>暴力を根絶するために相談しやすい体制を整えるというのが必要なので「相談しやすい」ということをもっと強調した目標にすれば違和感がなくなると考えます。</p>
委員	<p>江南市女性連絡協議会のKONAN子育て委員会でいろいろなイベントを開催しています。</p> <p>イベントの中で相談コーナーを設けており、その中でたくさんの声が上がってきています。その相談内容に合った江南市の担当窓口を紹介して、相談を次につなげていく働きかけをしているので、市がどのような取り組みをしているのか、もっと皆様に分かりやすく情報を教えていただけるとありがたいです。</p>
会長	<p>相談できる窓口を増やすという目標値に変えてはどうかという事ですね。</p>
委員	<p>その通りです。</p>
委員	<p>相談件数の増加を目標にするよりも、相談しやすい窓口の増加を目標にした方が誤解を招かないと考えます。</p> <p>DVなどのプライベートに関わるような相談はどうしても相談しづらいと思います。相談をするだけのために市役所等には行きづらいのではないのでしょうか。</p>
会長	<p>この目標については「相談件数の増加」という数値として出す必要があるのかどうか検討された方が良いと考えます。</p>

事務局	<p>52ページの施策の成果目標「広報等によるDV防止の普及啓発の回数」の説明の中で相談窓口の周知を図ると表記されており、どこに相談したらよいかわからないという人への周知をするという意味で指標に上げました。</p> <p>もうひとつ「DV相談件数」として指標を上げさせていただきましたが、たしかに相談が増えることが良いのか、少なくなった方が良いのか不明瞭な部分があることを皆様の意見をお聞きして改めて気づきました。指標の考え方や説明の書き方について検討させていただきます。</p>
委員	<p>基本目標Ⅳの視点1で「配偶者等」の「等」という表現に関して、苦しんでいるのは配偶者だけではなく、子供に暴力をふるってしまうことを止められない親もいます。視点の意味としてはこのとおりで良いですが、「等」のみではなく何か言葉を付け足すと良いのではないかと考えます。</p>
委員	<p>先ほどお伝えしたイベント内で相談窓口を設置する時は「心の相談」などの名称で掲げるとなかなか相談しづらいと思ったので、「キャリアアップ相談」という名称で設置しています。初めて相談に来た方はあまり自分の事を話そうとしませんでしたが、2回目以降はたくさん話してくれたという事がありました。</p> <p>やはりこのような相談は、一番はじめの対応が大切であって、その対応が次の一歩につながっているという事をすごく実感しました。</p>
事務局	<p>DV相談等のような内容は、プライベートに関わる話なので、相談を受ける側の対応も大事だという事を今のお話を聞いて実感しました。</p> <p>市の相談窓口という意味では、55ページの具体的施策48に該当するもので、相談を受ける側のスキルアップが必要だという事が分かったので、今後、会議等でプランの進捗管理をしていく上で、より良い相談対応ができるよう検討していきます。</p>
<p>議題（2）第2次こうなん男女共同参画プラン進捗状況について</p>	
事務局	<p>議題（2）の内容について事務局説明</p>
委員	<p>具体的施策2のパンフレットの配付について、その都度、改定はされていますが、全面的に刷新した方が良いと考えます。</p> <p>また、市の新規採用職員研修にも使われているとのことですが、その場合は大人向けのものを作成した方が良いと考えます。</p> <p>子供がもっと気軽に読んでみようという気持ちになるものに刷新することはできないでしょうか。</p>

事務局	<p>昨年度も意見をいただいております、毎年度、内容は改訂しております。刷新するというよりは必要な部分を直していくという形です。今年度についてはジェンダーギャップ指数とデートDVについて新たに掲載しました。</p> <p>毎年、懇話会等で意見をいただいたものは、その都度反映させて作成しており、今後も皆さまから頂いたご意見を参考に、情報を掲載するようにしていきます。</p>
その他	
委員	<p>男女共同参画の考えは若い世代の家庭では改善されてきています。男性が台所に立つという事もよく耳にするようになってきました。そのような意識の変化について大きく取り上げたりすると、男女共同参画の考えがさらに広まるのではないかと考えます。</p>
委員	<p>先ほど議題に上がったDVの相談件数の目標指数についてですが、市のホームページにDVに関する相談窓口のページを作り、そのページのアクセス数や、メールの件数などを統計するというのも一つの方法であり、もっとホームページを活用すると良いと考えます。</p>
委員	<p>男女共同参画の内容について知っている人は限られていると感じるので、分かりやすく宣伝していただくと助かります。</p>
委員	<p>DVの相談件数の目標指数について、相談件数を数値目標とすることに違和感がありました。</p> <p>目標を立てるとするならば、相談窓口の周知度にした方が良いと考えます。</p>
委員	<p>DVの相談窓口について、暴力をふるうことがやめられず苦しんでいる人もいますので、そのような人の心のケアや相談しやすい窓口があると良いと考えます。</p>
委員	<p>人権というのは一番に考えていかなければならないことで、自分を大切にす、他人を大切にすという教育は常日頃から心掛けなくてはならないことで、それでも他人を傷付けるような言葉や力で行動する子もいれば、その都度、家庭と協力しながら教育していくことが大事であると考えています。「ここへ連絡すれば良い」等、周囲からの報告を受け入れるような体制を整えていくと良いのではないかと考えます。</p> <p>被害を受けている児童を救うことを第一に考え、こども政策課や児童相談所、少年センターへつなげることが大切であると考えます。</p> <p>男女共同参画では父母がそろっているという前提で話されてい</p>

	ますが、ひとり親の世帯が非常に増えています。そのような状況にも配慮していくことを計画に反映させると良いのではないかと考えます。
事務局	今後、新しいプランを推進していく中で検討する課題として、担当課へつないでまいります。

(11:30終了)